

令和5年度 内子高等学校 シラバス

| 教 科 | 国語          | 科 目 | 文学国語 | 単位数                    | 2単位<br>3単位 | 学 年 | 2学年(一般類型普通)<br>2学年(進学類型文系) |
|-----|-------------|-----|------|------------------------|------------|-----|----------------------------|
| 教科書 | 新文学国語 (三省堂) |     | 副教材等 | デジタル版 カラー版新国語便覧(第一学習社) |            |     |                            |

## 1 学習の目標

- ・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにします。
- ・深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにします。
- ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養います。

## 2 学習の内容

| 学期   | 単元・項目                                           | 学習の内容                                                  | 備考                 |
|------|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|--------------------|
| 第1学期 | 1 発想と感覚<br>二十億光年の孤独<br>虹の雌雄                     | ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解します。                        | 中間<br>期末<br>考<br>査 |
|      | 2 読みの深まり<br>予感<br>雉始雌                           | ・文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えます。                  |                    |
|      | 3 人間の姿と心<br>山月記<br>デューク                         | ・人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めます。 |                    |
| 第2学期 | 4 作品の挑戦<br>少年という名前のメカ<br>バースデイ・ガール              | ・文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察します。                   | 中間<br>期末<br>考<br>査 |
|      | 5 意味と解釈<br>こころ<br>物語もっと深読み教室                    | ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにします。  |                    |
|      | 6 近代の創造<br>永訣の朝<br>たけくらべ                        | ・作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めます。        |                    |
| 第3学期 | 7 史実と虚構<br>項羽と劉邦 - 「史記」を読む<br>花山天皇の退位 - 「大鏡」を読む | ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解します。             | 学年末<br>考<br>査      |

### 3 評価の規準

#### 【知識・技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。

#### 【思考・判断・表現】

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

#### 【主体的に学習に取り組む態度】

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

### 4 評価方法

学期毎に、上記の評価の規準の3つの観点から、学習活動への取組、定期考査、小テスト、ノート、プリント、レポートについて評価します。また、各学期の評価を総括し、学年末の成績をA・B・Cで評価します。

### 5 学習のアドバイス

言葉に興味を持ち、分からない語句があれば辞書を引いて調べる習慣を身に付けましょう。また、積極的に文学作品を読むことを心掛け、作品が成立した背景を知ったり、関連した他の作品に触れたりしてみましょう。